



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和7年6月27日

第4号



「熱中症対策と学校教育活動」

副校長 生田 豪

< 運動会 >

本来予定していた5月31日（土）は雨天のため順延となり、6月4日（水）に運動会を実施しました。昨年度に引き続き、大道中学校よりお借りしたテント15張りの使用や小休憩タイム20分間の設定等、熱中症対策を万全に運営いたしました。代休日3日（火）の湿気が残る蒸し暑い天候の中、三連休明けの子どもたちの体調が心配ではありましたが、228名全員が参加し、熱中症・熱中症疑いの体調不良者を出すことなく、無事に運動会を終えることができました。

保護者様や地域の皆様におかれましては、平日開催にも関わらず多数のご来校をいただき、ありがとうございました。また、テントや机・椅子等の片付けにも、多くのご尽力をいただき、重ねて厚く御礼申し上げます。

< 水泳学習 >

朝比奈小学校では6月17日（火）にプール開きを行い、水泳学習を開始しました。連日、水泳学習ボランティア様のご協力を仰ぎながら、安全に学習を進めています。水泳は、体力づくりはもちろんのこと、命を守る力を育む大切な学習です。水の中での動きや呼吸の仕方を学ぶことで、いざというときに自分の身を守る力にもつながります。また、水泳は年齢を問わず楽しめる「生涯スポーツ」のひとつです。小学生のうちに水に慣れ、泳ぐことの楽しさを知ることは、将来にわたって健康な生活を送るための大きな財産になります。

ただ、連日の高温により、横浜市内の学校においても熱中症による救急搬送事案が発生しています。朝比奈小学校では、「横浜市立学校 熱中症対策ガイドライン」を遵守し、環境条件の把握、暑熱順化、健康観察、水分補給、休息等について適切に対応しているところです。

数年前までは、プール開きをしても序盤の数週間は、雨天や低気温・低水温といった理由から水泳学習が実施できないことが多くありました。しかし、昨今の「地球沸騰化」とも呼ばれる天候においては、6月の時点ですでに、暑さ指数（WBGT）や気温・水温が高すぎるために、中止や活動時間の短縮が必要か判断に頭を悩ます場面がありました。暑いときこそ子どもたちをプールに入れてあげたいところなのですが、安全には代えることができません。

今後も気温が高くなる予報が出されていますので、引き続きお子さんの健康観察や、水泳カードの適切な記入へのご協力をお願いいたします。

< 校外学習 >

例年6月と11月の年2回、「あいがいっぱい地域清掃活動」を行っています。地域の方のご協力をいただきながら花植えや清掃活動、落ち葉拾い等を行う活動です。今年度も1回目として、6月16日（月）から18日（水）の三日間を予定していました。初日の3・4年生は何とか実施できましたが、それ以外の日程は暑さが厳しく残念ながら中止となりました。

23日（月）には、4年生が資源循環局金沢工場・金沢資源選別センターの見学に行きました。電車にも乗りますが徒歩の行程も多くあります。ゆとりのある計画を立て、休憩時間を多めにとりながら水分補給を適切に行うことで、何とか31人全員が無事に見学を終えることができました。

この暑さはもう異常気象ではなく、6月は梅雨であり猛暑の季節でもあることを念頭にした実施時期の見直しが求められていると強く感じています。引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。